

2023年7月14日

西日本旅客鉄道株式会社

次世代バイオディーゼル燃料の導入に向けて新たなステップへ 走行試験開始！

JR西日本グループでは、2021年に環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を策定し、2050年にグループ全体のCO₂排出量「実質ゼロ」とすることをめざした取り組みを行っております。その一環で次世代バイオディーゼル燃料導入に向けた実証実験を実施しており、7月下旬頃より走行試験を実施することとなりましたのでお知らせします。

1. 実証実験の概要

国土交通省が公募した「鉄道技術開発・普及促進制度 令和4年度新規技術開発課題」（鉄道車両におけるバイオディーゼル燃料の導入に向けた技術開発）として、（公財）鉄道総合技術研究所様とJR7社で、ディーゼル車両への次世代バイオディーゼル燃料導入に向けた実証実験を当社エリア中心に実施しています。

2. 走行試験の内容

試運転列車（DEC700・キハ40）に次世代バイオディーゼル燃料を100%使用し、山陰線（下関～小串）にて試験走行を行います。気温の影響を確認するため、3シーズンに分けて実施します。

夏 期：2023年7月下旬頃～2023年9月上旬

通常期：2023年10月上旬～2023年11月下旬

冬 期：2023年12月上旬～2024年1月下旬

3. 今後の取り組み

当社が保有するディーゼル車両の燃料を次世代バイオディーゼル燃料へ100%置き換えることを目標とし、2024年度に長期走行試験を実施、2025年度以降の本導入をめざします。

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、9番、13番、17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

